

WakU²中部支部

オンライン技術講習会 2021.2.22 Mon▶3.19 Fri

2020年度 第6回 技術講習会 「車載用電池の可能性を探る」

公益社団法人自動車技術会 中部支部

<p>テーマ 「車載用蓄電池の市場動向並びに技術動向」</p> <p>講演時間 51分15秒</p> <p>講師 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 電池技術研究部門 小林 弘典 氏</p>	<p>テーマ 「液系リチウムイオン電池の可能性～東芝 SCiB™の技術と応用～」</p> <p>講演時間 37分13秒</p> <p>講師 株式会社東芝 電池事業部 稲垣 浩貴 氏</p>
<p>テーマ 「次世代モビリティのための全固体電池開発と材料研究」</p> <p>講演時間 26分40秒</p> <p>講師 トヨタ自動車株式会社 先端材料技術部 先進エネルギーデバイス Gr 矢田 千宏 氏</p>	<p>テーマ 「災害時における電動車の活用と分散電源の在り方」</p> <p>講演時間 30分18秒</p> <p>講師 三菱自動車工業株式会社 国内営業本部 国内企画部 EV推進グループ 川井 拓 氏</p>

THEME 車載用電池の可能性を探る

技術講習会は毎年5回、合計約800名の方の参加のもと、刈谷市産業振興センター他の会場で開催をし、講演終了後には講師と参加者が輪になって議論できる場も設け、大変好評をいただきました。ところが新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度は第1～4回を中止することになりました。しかしながら何とか会員の皆様へ新技術を紹介する場を提供したく、第5回、第6回はオンラインでの開催をおこないました。第5回では講師に集合いただきカメラ撮影で、第6回はTeamsを使ってのオンライン収録を試み、無事に配信をおこなうことができました。

ここでは2021年2月22日から約1ヶ月間公開しました第6回技術講習会についてご紹介します。

- [テーマ] 車載用蓄電池の可能性を探る
- [講演] ○車載用蓄電池の市場動向並びに技術動向 (産業技術総合研究所 小林 弘典様)
 ○液系リチウムイオン電池の可能性 (東芝 稲垣 浩貴様)
 ○次世代モビリティのための全固体電池開発と材料研究 (トヨタ自動車 矢田 千宏様)
 ○災害時における電動車の活用と分散電源の在り方 (三菱自動車工業 川井 拓様)

570名の申込み、中部支部以外の支部からの参加者は40%を占めるなど、従来のリアル講演会とは大きな変化がありました。皆さんも是非、参加してみたいはいかがでしょうか。

参加者の声

液体電池と固体電池が同時発表で、良いところを比較することができ非常に興味深く拝聴できた。

現地に出かけなくてよく、参加しやすいし都合の良い時間に聴講することができた。

今後もこの形式で継続いただきたいが、技術トレンドを参加者と意見交換することができない課題もあるのでコロナ禍が落ち着いたら対面形式の再開を期待します。

自技会がやるべき講習会。難しい化学式が多用されることなく電池の動向を説明してもらえた。

画面を止めてグラフを理解できWEB講演のメリットが実感できた。

セル材料開発の専門的な内容から、電気自動車の社会活用に至るまで幅広い内容で良い企画。

DATA

